解体用つかみ具 (内部シリンダー作動型)

グノノ工术				
適用範囲		型 式		GV-16S
		質 量 kg		110
		取付ショベルton		1.2~3
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値
		ボルトサイズ(外輪)	m m	10
旋		締付トルク	N∙m	72.5
	旋回ベアリング取付けボル		kg∙m	7.4
装	トの締付け	ボルトサイズ(内輪)	m m	10
置		締付トルク	N∙m	72.5
			kg∙m	7.4
油		開閉シリンダー	mm/分	図6-14
置圧	シリンダー	伸縮量L	m m	20
装		測定時間	分	5
		つかみポイント(A)		図6-15
つ	つかみポイント(ツース)	基準値	m m	61
かみ		許容限度	m m	51
	つかみポイント (すべり	つかみポイント(B)		図6-15
部	止め部材)	基準値	m m	12
	ユニ ~> Hトイトン /	許容限度	m m	6

タグチ工業

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①つかみ具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態(シリンダー最縮長)で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、aのストップバルブ (開閉ライン) を 左右とも閉じる。
- ③ L 寸法を測定し、5 分間経過後に再度 L 寸法を測定、その差を伸縮量とする。

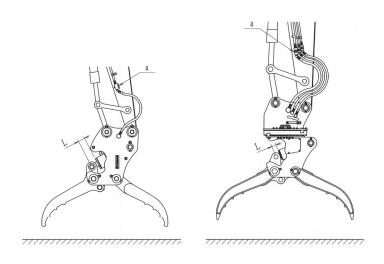


図 6-14 開閉シリンダーの伸縮量測定姿勢

解体用つかみ具(内部シリンダー作動型)

2. つかみポイントの測定

①全閉状態(シリンダー最伸長)でA寸法、Bのつかみポイント間の寸法を測定する。

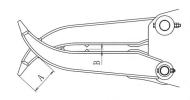


図 6-15 つかみポイントの測定